



Beppu WISE 2019 Summer Program August 2-4, 2019 at Ritsumeikan APU

「このようなモノやサービスがあれば、コミュニティや世界はもっと良くなるはず」……。そのようなアイデアを持ってはいても、なかなか具現化するための一歩が踏み出せずにいることが多いのが実情です。2019年は「Global x Inclusive x Leadership」をテーマに、米国、タイ、インドネシア、プエルトリコ、インド、日本から33人が参加し、社会的課題について起業家精神を用い、解決策を考えながらプロジェクト化に取り組みました。国内外で活躍する社会起業家や実務家をメンターとして招き、彼らの専門的な知識やアドバイスを織り交ぜながらチームとなって協働することで、「情熱」や「アイデア」をプロジェクトとしてカタチにするまでのプロセス体験を盛り込みました。



JSIEでは、リーダーシップを発揮しながらグループの中で協働する力、そして妥協ではなく成果をより良いものにするためにどうしたらいいか判断力・決断力を養うことを目的としています。



グループ作業の様子

“Global x Inclusive x Leadership”のテーマの下、Beppu WISE 2019はAPU, ICAS Temple University, Japan, Deerwalk, Inc., Center for Global Partnership, United States Department of Stateのご協力をいただきました。ご支援御礼申し上げます。



パネルセッションでは、APU在學生で起業家のMartin Noel氏、Dissa Ahdanisa氏から起業のきっかけと示唆に富んだ視点をお話いただきました。プレゼンターとしてidpc創業し、ベトナムでもラーメン屋を起業した真鍋希代嗣氏も参加。

WISEで着目する点は以下の通りです。

1. 何が問題か見極め、定義する力
2. 自分の考えを他者へ伝える力
3. 人を巻き込み、協調、交渉する力
4. 多様な価値観を受け入れ柔軟に考える力
5. ベストな成果を引き出すリーダーシップ



限られた時間の中で考えをまとめたり、合意を形成したり、どういう役割を誰が担うのか、どういう基準で物事を判断するのか、自分たちで考えて決めていくことが求められます。これによって、困難な状況下や様々な問題に直面しても、最初に何をし、次のステップは何か動きながら考え、そして試すことができる力をつけてほしいと考えます。

Beppu WISE 2019 Summer Program “Global x Inclusive x Leadership” by JSIE x Ritsumeikan APU



出口治明氏



小安美和氏

国際機関やIT起業、社会的起業経験のあるメンターによるセッションとグループワークによって、参加者らはさらにアイデアを進化させます。メンターには、Lifenet, Inc.を創業しAPU学長の出口治明氏、リクルートジョブズ執行役員を経てWill Lab, Incを創業した小安美和氏。ネパールの貧困家庭から米国へ渡りDeerwalkを創業したRudra Pandey氏、シリアル起業家でありSunabaなどIOTに関わる事業を次々と立ち上げた中村まこと氏。世界銀行やアショカにて長年ソーシャルイノベーションの分野に関わるサンジャナ・カナル氏、JSIEの原佑理子、村上博美も講師を務めました。

Key Note SpeakerのRudraさんからは「社会を変えられる、その行動をとろう」というメッセージがあり、JSIEファシリテータから、どういったアウトプットでどういったインパクトが社会へ与えられるのか、議論の整理の仕方や、VisionとMissionの違いなどについて、事例が紹介されました。また、JSIEからは投資家の視点やおさえておくポイントなど説明があり、さらに、自分たちのプロジェクトやアイデアをさらにうまく伝え、資金や顧客を得るために効果的な、ストーリーテリングを踏まえたプレゼンテーションの活用について考えました。

Samjhana氏



ルドラ氏



中村まこと氏

最終プレゼンテーションでは、当初のアイデアが3日間にわたって集中的に議論され練られた結果、どのチームも見違えるような企画発表となりました。



優勝したAround the Tableチーム(上)と2位のPlushyチーム(下)。



審査員の視点から投資したいと思うプロジェクト企画を考えたグループに、最優秀賞とアワードが贈られました。最優秀賞に輝いたのは、高齢化が進む社会で孤立化を防ぎコミュニティで一緒にご飯を食べるAppのアイデアでした。国際色豊かで個性豊かなグループメンバーによる協働によって、ビジョンやミッション、新しいアプローチを考え出すプロセスにどのチームも試行錯誤を繰り返しながら、考えをまとめ発表となりました。



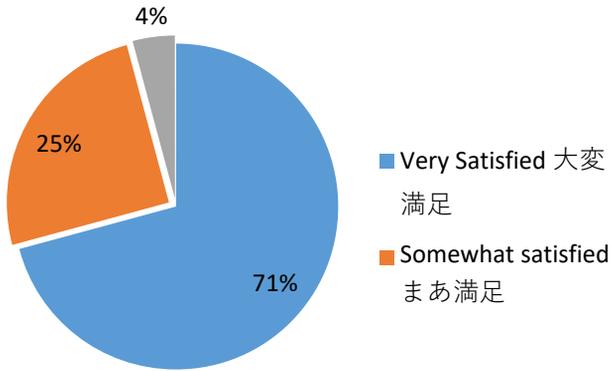
JSIEは引き続き、WISEフェローたちのこれからの躍進を見守ってまいります。WISEプログラムについては、www.jsie.netをご覧ください。



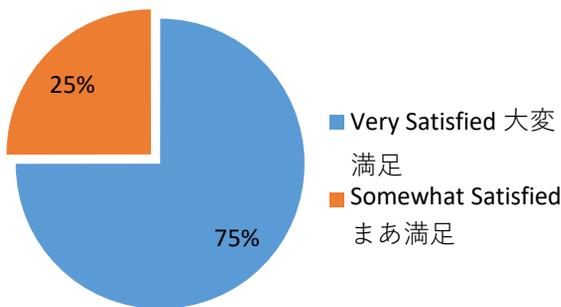


アンケート結果

1) WISE2019の満足度について教えてください。



2) ファシリテータは効果的でしたか



Q: WISE2019でよかったことは？

多様な他者（国籍、職種、専攻、性別、年齢が様々な方々）と社会問題解決のプロジェクトチームで協働できた点。英語だった点もさらに満足度が上がりました。

たくさんの、異なる夢や目標を持った学生や大人の方々との交流を通して新しいものを誕生させられた点や、競争ではなく互いを伸ばし合得るような空気があった点などがよかったです。チームがとてもカラフルで幸運だった。多様性のあるチームでの共通認識を「つくりあげる」ことの難しさを学ぶことができた。

情熱を持つ人とどうしたらFeasibleなものを作るかビジネスマインドのジレンマを感じ続けた3日間でした。これまでビジネス視点ばかり重視して考えることが多かったのですが、人が持つ情熱を阻害することなく、持続的なサービスを作ることの難しさややりがいを感じることができたのが最大の刺激だと思います。

メンターの方を始め、多くの方々のアイデア出しや意見交換の際のコメントの的確さやスピードには刺激を受けました。自分の視野がもっと広げられるということや、伸び代があるということに気づき、もっとがんばりたいと思うきっかけになりました。

